

ワシントン大学セントルイス校滞在報告

物理学専攻博士課程 2年 益田晃太

2014年9月14日から2014年11月28日までワシントン大学セントルイス校 (Washington University in St. Louis) に滞在した。滞在先の Mark Alford 教授は、中性子星内部等の低温高密度 QCD 物質において実現する事が期待されるカラー超伝導相に関する理論的研究の第一人者である。

滞在先では、Alford 教授、彼の学生と共に新しい課題に挑戦した。大学内の環境は素晴らしく、滞在中はほぼ毎日 1 時間程の議論を 3 人で行うことが出来、研究が大いに捗った。一方で、議論を円滑に進めるためにはより洗練された英語力が必要であることを痛感した。結果として滞在中に議論を終わらせる事は出来なかったが、今後も共同研究を続けていく事を約束していただいた。

このような機会を与えてくださった ALPS の皆様、滞在中受け入れて下さった Alford 教授をはじめとする研究室の方々に感謝する。



ワシントン大学セントルイス校